

生分解性マルチの物性比較試験



ナトゥーラ(展張時)



カエルーチ(展張時)



ナトゥーラ(8月6日撮影)



カエルーチ(8月6日撮影)



ナトゥーラ(8月30日撮影)



カエルーチ(8月30日撮影)

試験目的

生分解性マルチの物性比較試験

試験作物 及び品種

えびすかぼちゃ(加工用)

試験資材 及び数量(規格)

ナトゥーラ 透明(0.016mm×95cm×200m)×2本

慣行資材

カエルーチ 銀ネズ(0.018mm×80cm×400m)

栽培方法

| 播種日 | 定植日 |
|----------------|-------|
| 5月29日 | 6月14日 |
| 【栽植密度】 株間：80cm | |

資材使用期間

6月1日～

試験区面積

380㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張時の裂けは気にならなかった。慣行品も裂けはなかったので、比較しても遜色はないと思う。ただし、普段から80cm幅を使用しているので、95cm幅だと機械の設定を変えなければならないのが面倒だった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

透明の試験品の方が明らかに初期生育がよかった。慣行品は銀ネズを使用しているせいか試験品よりは生育初期の成長が遅く感じた。とはいえ収穫期のでき具合は変わらなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：以前使用していたサンブラックマルチは分解しないので、畑にいつまでも残る。この点が改善されているので気にならなかった。

【問題点】：1週間ほど慣行品と比較して風化が遅かった。コストがかかる。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

強度面での問題なし、崩壊性も早すぎることなく働きこめたので問題はないと感じた。

(5)促成・抑制効果について

試験品ではないが、銀ネズの慣行品に生育抑制効果があることが今回わかった。色によって差が歴然だった。

(6)保温効果について

特に問題はなかった。

(7)雑草・病害虫の発生について

透明なので雑草発生が気になるかと思ったが、かぼ

ちゃの場合は初期生育のみにマルチが必要なので、その後雑草が生えてきても特に気にならなかった。

モニター感想

展張・生育に問題がなかったので良い資材だと思う。かぼちゃは初期生育のみマルチが必要であり、早めに分解するマルチを望む。95cm幅を試験したが、セル苗を用いると苗が機械に合わず乗り上げることがあるので、80cm幅を望む。あとは価格が下がれば普及が見込めると思う。加工用は価格が安いので、マルチを使用するには資材代を下げることが重要と考える。

JA担当者の感想(生産資材課 佐藤 氏)

透明と銀ネズに初期生育で差が出たことに驚いた。生分解性マルチは価格面がネックになっている。しかし、資材効果は似たり寄ったりであり、物によっては価格差があつたりすることもある。現在の価格の半分程度になれば普及する。

今後の使用について

改良して欲しい。
またぎやすいことや、使用しているセル苗にぴったりであることから80cm幅を使用したい。

将来希望する資材について

カラスやネズミといった害虫を的確に駆除できる資材。